

コンセプト

そもそもコンセプトを作る理由

- モチベーションの維持
 - 作品の方向性を明確にする
 - 品質の維持
- 作品作りの動機を作る
 - 単純作業の回避
- 作品作り自体に価値を与えるため
 - 「なんでそれを作ったの？」を伝えられるようにする
- ゴールデンサークルを試してみたい
 - これまでの取り組みと差が生まれるか試してみたい

Why (なぜ)

- 🚩 解決したいこと、実現したいこと
- 学習したフロントエンド技術を深めたい
 - 言語・フレームワーク
 - 周辺サービス (BaaSとか)
 - セキュリティ
 - パフォーマンス
- 楽しみながら技術習得したい
 - 自分の持つWhyを解決する手法として
 - 興味関心の対象である
- 技術だけでなく自分を表現したい
 - エンジニアは技術力と人間力
 - 共通の話題を持つ仲間づくり
 - もっとオープンな性格になりたい
- 自分が望むイメージを実現したい
 - 既にあるものにも不満はある
 - 単純に作ってみたいイメージ
- 繋がりを生むきっかけにしたい
 - 私のことをもっと知ってもらう
 - 話のネタになる
- 🚩 まとめ **技術力と人間力を表現し、新たな交流のきっかけを得たい。**

How (どうやって)

- 🚩 解決する方法
- 技術力
 - オリジナル作品を作る
 - 学習はインプット
 - 参考書の例題もインプット
 - アウトプットは創意工夫
 - 自分で企画・設計
- 人間力
 - 作品の出来栄
 - デザインは個性が出る
 - 使い勝手もユーザー視点であるか試される
 - コンテンツの表現方法
 - ブログやSNSのような情報を発信
 - 技術的価値でなくても個性となる
- 相手の興味を引くには？
 - 交流したいと思ってもらうために
 - タイムリーであること
 - 定期的な更新
 - 人間の目が動いているものを捉えるのと同じ
 - 情報の鮮度は、興味関心に影響
 - 自分の興味のあることを発信していく
 - もちろん自己紹介も必要
 - 仕事内容についても
 - 趣味も発信したい
 - 価値を損ねないような表現で
- 🚩 まとめ **新鮮なコンテンツを発信するためのオリジナル作品を作る。**

What (なにを)

- 🚩 具体的な手段 (モノ)
- ホームページ
 - 技術力の応用は可能
 - 鮮度を示しにくい
 - 作った日が新しければいいわけではない
- ブログ
 - 静的と動的の両方を表現できる
 - WordPressのように
 - いろんなテーマについて発信が可能
 - コンテンツをデータベースに保存するので使いまわせる
 - CMSツールにするというステップも踏める
- Webアプリ
 - アプリそのものは自己表現が難しい
 - 出来栄は個性でもあるが伝わらない
 - ブログのシステムがWebアプリ
- 仕組み
 - 流行りの技術
 - Next.js (React)
 - Qinのメインスキルなので優先
 - Vue.js
 - Web制作だとこっちの方
 - SPA
 - 快適性にも影響する
 - 自分もSPAのページが好き
 - レスポンス
 - 意外と面倒なことがわかった
 - だからこそ楽に作れるようになっておきたい
 - 相手に見せるときスマホというケースは多いと思う
 - などなど
 - 快適性
 - 自分の好み
 - 世の中の原則的に
 - リビートにも影響か？
 - リビートされなくても、低評価でなければよい
 - 作品は一つでなくても良い
 - ブログは一つのコンテンツ
 - ToDoリストなども一つのコンテンツ
 - ブログやホームページなら紹介もできる
 - 🚩 まとめ **ブログを開発する。**

結論

- 技術力と人間力を表現し、新たな交流のきっかけを得ため、
- 新鮮なコンテンツを発信するためのオリジナル作品として、
- ブログを開発する。

コンセプト

1. Why (なぜ)

1.1. 解決したいこと、実現したいこと

1.2. 学習したフロントエンド技術を深めたい

1.2.1. 言語・フレームワーク

1.2.2. 周辺サービス (BaaSとか)

1.2.3. セキュリティ

1.2.4. パフォーマンス

1.3. 楽しみながら技術習得したい

1.3.1. 自分の持つWhyを解決する手法として

1.3.2. 興味関心の対象である

1.4. 技術だけでなく自分を表現したい

1.4.1. エンジニアは技術力と人間力

1.4.2. 共通の話題を持つ仲間づくり

1.4.3. もっとオープンな性格になりたい

1.5. 自分が望むイメージを実現したい

1.5.1. 既にあるものにも不満はある

1.5.2. 単純に作ってみたいイメージ

1.6. 繋がりを生むきっかけにしたい

1.6.1. 私のことをもっと知ってもらう

1.6.2. 話のネタになる

1.7. まとめ

1.7.1. 技術力と人間力を表現し、新たな交流のきっかけを得たい。

2. How (どうやって)

2.1. 解決する方法

2.2. 技術力

2.2.1. オリジナル作品を作る

2.2.2. 学習はインプット

2.2.2.1. 参考書の例題もインプット

2.2.3. アウトプットは創意工夫

2.2.3.1. 自分で企画・設計

2.3. 人間力

2.3.1. 作品の出来栄え

2.3.1.1. デザインは個性が出る

2.3.1.2. 使い勝手もユーザ視点であるかが試される

2.3.2. コンテンツの表現方法

2.3.2.1. ブログやSNSのような情報を発信

2.3.2.1.1. 技術的価値でなくても個性となる

2.4. 相手の興味を引くには？

2.4.1. 交流したいと思ってもらうために

2.4.2. タイムリーであること

2.4.2.1. 定期的な更新

2.4.2.1.1. 人間の目が動いているものを捉えるのと同じ

2.4.2.2. 情報の鮮度は、興味関心に影響

2.4.3. 自分の興味のあることを発信していく

2.4.3.1. もちろん自己紹介も必要

2.4.3.2. 仕事内容についても

2.4.3.3. 趣味も発信したい

2.4.3.3.1. 価値を損ねないような表現で

2.5. まとめ

2.5.1. 新鮮なコンテンツを発信するためのオリジナル作品を作る。

3. What (なにを)

3.1. 具体的な手段 (モノ)

3.2. ホームページ

3.2.1. 技術力の応用は可能

3.2.2. 鮮度を示しにくい

3.2.2.1. 作った日が新しければいいわけではない

3.3. ブログ

3.3.1. 静的と動的の両方を表現できる

3.3.1.1. WordPressのように

3.3.2. いろんなテーマについて発信が可能

3.3.3. コンテンツをデータベースに保存するので使いまわせる

3.3.4. CMSツールにするというステップも踏める

3.4. Webアプリ

3.4.1. アプリそのものは自己表現が難しい

3.4.1.1. 出来栄は個性でもあるが伝わらない

3.4.2. ブログのシステムがWebアプリ

3.5. 仕組み

3.5.1. 流行りの技術

3.5.1.1. Next.js (React)

3.5.1.1.1. Qinのメインスキルなので優先

3.5.1.2. Vue.js

3.5.1.2.1. Web制作だところちの方

3.5.1.3. SPA

3.5.1.3.1. 快適性にも影響する

3.5.1.3.2. 自分もSPAのページが好き

3.5.1.4. レスポンシブ

3.5.1.4.1. 意外と面倒なことがわかった

3.5.1.4.2. だからこそ楽に作れるようになっておきたい

3.5.1.4.3. 相手に見せるときスマホというケースは多いと思う

3.5.1.5. などなど

3.5.2. 快適性

3.5.2.1. 自分の好み

3.5.2.2. 世の中の原則的に

3.5.2.2.1. リピートにも影響か？

3.5.2.2.2. リピートされなくても、低評価でなければよい

3.6. 作品は一つでなくても良い

3.6.1. ブログは一つのコンテンツ

3.6.2. ToDoリストなども一つのコンテンツ

3.6.3. ブログやホームページなら紹介もできる

3.7. まとめ

3.7.1. ブログを開発する。

4. 結論

4.1. 技術力と人間力を表現し、新たな交流のきっかけを得ため、

4.2. 新鮮なコンテンツを発信するためのオリジナル作品として、

4.3. ブログを開発する。

5. そもそもコンセプトを作る理由

5.1. 作品作りの動機を作る

5.1.1. モチベーションの維持

5.1.2. 作品の方向性を明確にする

5.1.2.1. 品質の維持

5.1.3. 単純作業の回避

5.2. 作品作り自体に価値を与えるため

5.2.1. 「なんでそれを作ったの？」を伝えられるようにする

5.3. ゴールデンサークルを試してみたい

5.3.1. これまでの取り組みと差が生まれるか試してみたい